

箱根土曜塾からのお知らせ No.3

～「箱根土曜塾」で活躍する講師について～

箱根土曜塾は受講生の学力に応じて6つのグループ（5～6名）に分かれ、各グループの講師が受講生に合わせたプログラムにより、授業を行っています。今回は、箱根土曜塾で活躍する講師を紹介します。勉強を頑張っている皆さん、講師の勧める勉強方法を是非試してみてください。

- ①氏名・性別
- ②箱根土曜塾の講師に応募したきっかけ
- ③(受講生・講師にとっての)箱根土曜塾の魅力
- ④箱根で行きたいところ ⑤お勧めの勉強方法

- ①石田 恵伍・男【写真左上】
- ②少人数集団の授業に興味があったため
- ③中学3年生の段々と勉強に向かう姿勢が変化してくるところ
- ④天成園
- ⑤甘いものを食べながら勉強する

- ①田口 美穂・女【写真中上】
- ②自教室の生徒だけでなく、より多くの中学生に教えてみたいと思ったため
- ③单元ごとに丁寧に復習ができる場所
- ④温泉
- ⑤復習と演習を細かく交互に行うと覚えやすい



- ①中西 隆斗・男【写真左下】
- ②箱根土曜塾の授業を通して自分の力になればいいと思ったため
- ③自分で解いた問題をどのように解いたかをグループ内で伝えるということをしているのですが、自分の考えを共有することは本人やグループにとって大切なことであるので、これを取り入れやすい環境があるのはすばらしい
- ④幼い頃からのロープウェイに乗って、大涌谷まで行ってみたい
- ⑤幅広く解くのではなく、1つの問題を自分で完答できるまで解く

- ①原田 有・男【写真中下】
- ②塾が無い地域で教育支援として少しでも携わりたいと感じたため
- ③子ども達の学習意欲を感じることができるところ
- ④芦ノ湖でお蕎麦を食べたい
- ⑤1回目は全問解く、2回目は間違えた問題だけ解く、3回目も間違えた問題だけ解く…出来た問題を抜いていく方式



- ①伊藤 彩花・女【写真右上】
- ②4月から公務員になるので、民間と行政の関わる機会を実際に体験したいと思ったため
- ③子どもたち同士で分からないところを楽しそうに教え合う姿が見られること、学校ほど人数が多くないので、分からない部分をすぐに解決できること
- ④一眼レフを持っていて写真を撮ることが好きなので、紅葉のキレイなスポットを模索中です。紅葉に限らず、写真を撮るのにオススメがあったら知りたい
- ⑤その日の授業の復習はその日のうちにやること

- ①片桐 力・男【写真右下】
- ②教員志望なので勉強したいため
- ③朝早く起き、生徒に多く接したいため
- ④芦ノ湖
- ⑤少しの時間でいいから毎日やる



※紙面の都合上「園・小・中一貫教育（分離型）」の記事は休載します。

「家庭教育をきえる」
地域でやれる・地域へいそぐ

「心配しなくてもいいんだよ。練習どおりにやれば成功するから、頑張っておいで」運動会の朝、保護者の方からかけられたその言葉で児童は気持ちが落ち着いて、元気が出たと話してくれました。本校は二学期になると、運動会や町小学校体育大会、遠足など行事が続きます。六年生は「学校の顔」と言われ、下級生のお手本としてしっかりとした態度や行動が求められます。それが最高学年としてのプレッシャーとなることもあります。そんな中、例えば町小学校体育大会では、自信がなかった時「頑張っ！一位とれるよ」、目指していた記録が出なかった時「惜しかったよ。よく頑張ったね」、ベストの記録が出た時「おめでとう。良かったぞ」…うまいった時もそうでない時も、



照会先 教育委員会生涯学習課
☎85-7601

箱根の森小学校
☎82-3038

保護者の方の温かい励ましが児童の心の支えとなり、頑張る原動力となり、次の活動の動機付けとなりました。短い言葉でも、共に喜び、寄り添う気持ちは児童に伝わります。児童が頑張りを続けることができるように、家庭でも学校でも温かい励ましを続けていきたいです。

五感を用いた森林の楽しみかた(冬編)

箱根芦ノ湖森林セラピー基地通信(その10)

前回に引き続き、五感（視覚、聴覚、触覚、味覚、嗅覚）を用いた冬の森林の楽しみ方を紹介します。冬鳥がやってきます。

「冬鳥」とは越冬するために日本に渡ってくる渡り鳥のことで、秋にやってきて冬を日本で過ごし、春になると北方へ渡ります。冬には、一年中みられる鳥「留鳥」のほか、季節限定の「冬鳥」が見られます。冬は観察の妨げになる木の葉が落ち、野鳥をすぐに見つけることができます。野鳥観察には絶好の季節なのです。鳥のさえずりと鳥の姿を探して楽しみましょう。

ゆらぎを体験してみよう
ゆらぎとは不規則な規則性を持つ現象のことをいいますが、ゆらぎは脳疲労を軽減することが解明されています。自然の中では様々なゆらぎがあります。たとえば、針葉樹の根元から上を見上げてみましょう。木々がしなる様子が目に入ります。この揺れはきままっているものではありません。その時の自然状況に影響を受けています。まさにゆらぎです。他にも風を意識してみたり、川の流れる音を意識してみたりしてください。ゆらぎを感じることができます。

フィトンチッドは冬でも放出されます。ところで、フィトンチッドというものをご存知ですか。樹木が自分自身を守るために発している物質です。フィトン（植物）チッド（殺す）という意味で、トキシンという学者が名づけました。この物質は人間にとっては有益なことが分かっており、様々な森林の機能はこの物質が大事な役割を果たしているようです。フィトンチッドは冬でも放出されています。

冬も「森林に何かをされに行く」ことを楽しんでみませんか。
執筆者 高田裕司 中小企業診断士・森林セラピスト・キャリアコンサルタント
森林の楽しみ方のヒントなどが満載の「はこじょセラピーラボ」もあわせてご覧ください。
ホームページ <http://hakojo-lab.jp/>
箱根やすらぎの森では、この時期、冬鳥のウソ、ジョウビタキの他、留鳥のヤマガラなどの姿が観察できます。
照会先 森のふれあい館 ☎83-6006